



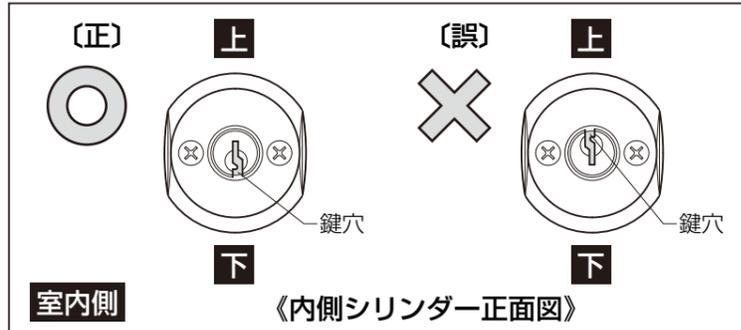
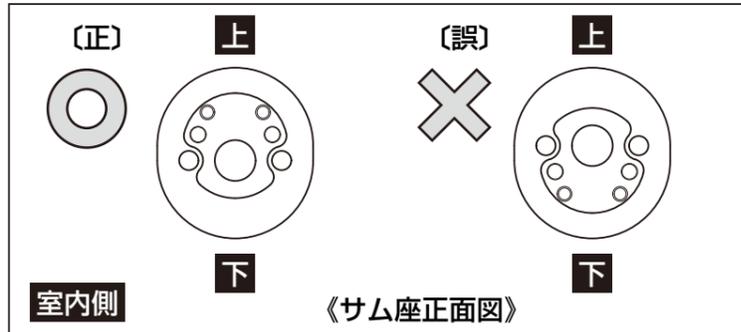
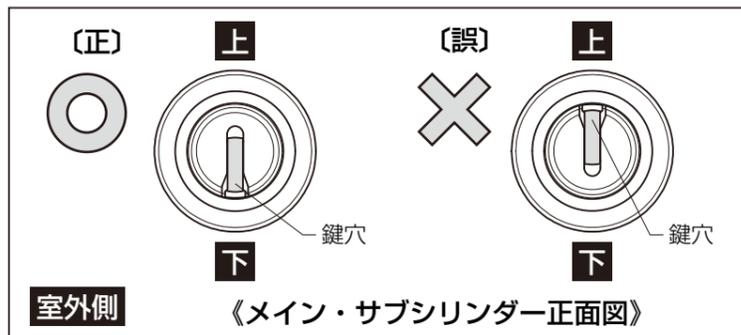
■取付け上のお願い

- 本製品の鍵穴に、スプレー式潤滑油（CRC556など）やマシン油を注入しないでください。作動不良などの不具合の原因になります。万一鍵がスムーズに動かない場合は、当社指定の鍵穴用パウダー潤滑剤（DASZ020）または鉛筆の芯を粉状にして注入してください。

■取付け順序

1 メインシリンダー・セキュリティサムターン
（または内側シリンダー）の取付け〔上側〕

- ①メインシリンダー（ボルトの付いている方）の鍵穴が下寄りになるように向け、本締め箱錠（上）の丸穴に差込みます。（右図）
※メインシリンダーを必ず、本締め箱錠（上）に取付けてください。防犯性が低下します。
- ②サムトメパイプを本締め箱錠（上）に当たるまでメインシリンダーにねじ込み、約1回転緩めておきます。
- ③サム座の上下を右図のように向け、サムトメパイプにねじで固定します。
※サム座がサムトメパイプの間に入らない場合は、サムトメパイプを更に緩めてください。
- ④セキュリティサムターンをサム座に差込み、ねじで固定します。



●内側シリンダーの場合

- ①メインシリンダー（ボルトの付いている方）の鍵穴が下寄りになるように向け、本締め箱錠（上）の丸穴に差込みます。（右図）
※メインシリンダーを必ず、本締め箱錠（上）に取付けてください。防犯性が低下します。
- ②サムトメパイプを本締め箱錠（上）に当たるまでメインシリンダーにねじ込み、約1回転緩めておきます。
- ③樹脂スペーサーをサムトメパイプの間に差込みます。
※樹脂スペーサーがサムトメパイプの間に入らない場合は、サムトメパイプを更に緩めてください。
- ④内側シリンダーの鍵穴が下寄りになるように向け、本締め箱錠（上）の丸穴に差込みます。（右図）
- ⑤内側シリンダーをサムトメパイプにねじで固定します。

2 サブシリンダー・サムターンの取付け〔下側〕

- ①サブシリンダーの鍵穴が下寄りになるように向け、本締め箱錠（下）の丸穴に差込みます。（右上図）
- ②サムターンを本締め箱錠（下）の丸穴に差込みます。
★サムターンのつまみは縦にしてください。
- ③サムターンをサブシリンダーにねじ止めします。
★サムターンは縦の時解錠、横の時施錠です。

3 レバーハンドルの取付け

- ①外側台座を室外側からラッチ箱錠の丸穴に差込みます。
- ②内側台座を室内側から外側台座にねじ止めします。
- ③角芯付きレバーハンドルを室外側から差込みます。
- ④レバーハンドルを室内側から差込み、締付けねじで固定します。

■コンストラクション装置について
（装置付きの場合）

- シリンダーにはコンストラクション装置が組込まれています。
施工の際は、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。施工後、お施主さま専用キーを使用するとコンストラクション装置が解除され、以降はコンストラクションキーでは施解錠できなくなります。
- 封印シールが張ってあるシリンダーにはコンストラクション装置が組込まれていないため、お引渡し時にシールをはがし、作動を確認してください。

